研修プログラム名【　脳神経外科専門医養成プログラム　】

１．診療科（専門領域）

脳神経外科

２．研修期間

２年

３．募集人数

２名

４．短期目標

頭部外傷や脳血管障害のような救急領域だけではなく脳腫瘍や先天奇形などの疾患に対して、基礎的な脳神経外科医としての診断、治療の実行能力習得した者に対して、さらに実際の臨床経験を積み上げ、専門医を取得できるレベルにまで到達することを目標とする。具体的には６年間の研修期間を必要とする日本脳神経外科学会の定める専門医養成の後期部分に沿った研修を目標とする。

５．短期取得手技

マイクロサージェリーの基本技術の修得に専念するが、手術技能の到達度に応じて、難易度の高い手術を順次行っていき、到達度によっては、マイクロサージェリーの習熟には最も適しているといわれる脳動脈瘤のクリッピング術のアプローチもしくはクリッピングまでを指導医の指導のもとに実践する。また、メジャーと呼ばれる手術のうち、髄膜腫の摘出など比較的難易度の低いものから術者として経験していく。

６．診療科の実績と目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（２年間）
脳腫瘍	60	40
脳梗塞	130	80
くも膜下出血	110	80
脳出血	170	120
その他脳血管障害	20	20
頭部外傷	350	240
先天異常	2	4
感染	5	4
脊椎・脊髄	20	10
その他	120	80

手術	件数（年間）	目標件数（２年間）
脳腫瘍直達手術	35	20
動脈瘤手術	70	40
脳動静脈奇形手術	7	4
他の脳血管障害	25	16
頭部外傷（慢性硬膜血腫含む）	100	60
血管内手術	35	24
先天奇形手術	1	2
脊髄・脊椎手術	1	2
定位脳手術	25	16
その他	150	100

７．診療科の指導体制

診療科医師数　常勤　　７名、非常勤　　３名

診療科研修の指導にあたる医師　　５　名

主として研修指導にあたる医師の氏名　　正岡　博幸

〃　　診療科経験年数　　24　　年

８．コンセプト

このプログラムの２年の間に専門医合格レベルの診断、治療についての十分な知識を身につけ、スタンダードな治療、さらには先進医療を行いえる能力を修得することが目標であるが、脳神経外科はチーム医療であり、より良き成績を上げるためにも同僚や、患者および家族からも全人格的に信頼される医師になることを目標とする。

また、手術に関しては、脳神経外科専門医として恥ずかしくない手術手技の修得をめざし、難易度の高い手術を除いてスタンダードといわれる脳神経外科手術をこなせるようになるのが目標である。

９．共通領域研修について

・ 救命センターカンファレンス（毎日）参加
・ 神経内科と合同神経疾患カンファレンスを月１回開催
・ 多摩地区脳神経外科医の研究会参加、年５－６回参加

脳神経外科基礎コース

卒後 3 年目/卒後 4 年目/卒後 5 年目
脳神経外科基礎養成プログラム

脳神経外科専門医養成コース

卒後 3 年目/卒後 4 年目/卒後 5 年目	卒後 6 年目/卒後 7 年目
脳神経外科基礎養成プログラム	脳神経外科専門医養成プログラム